

2018年歩こう会秋の例会報告

◎日時 11月1日(木)

◎行き先 倉敷市児島郷内地域

◎参加者 50音順 敬称略

井垣、景山、亀山、行本、若槻、杉原 以上6名

◎報告記

倉敷市の児島地域で古くから栄えたという郷内地区を散策しました。

JRの瀬戸大橋線植松駅と木見駅の間にあたり、約7キロの歩きでした。



最初に 当日予定の半分近く歩いて、名前の通り地域の有力寺院『一等寺』からです。中本寺というだけあって、立派な本堂に勅使門まで備えています。皆様お疲れか、早い昼食がここで。



でもがんばって、そこから瀬戸中央道水島インターの東を南下。かつて児島修験と言われ、全国の修験道の方の旗頭でもあった『五流尊瀧院』と『児島熊野神社』を見学しました。熊野本宮とそっくりと言われ、全国の熊野神社のなかでも特別な存在と言われるこの熊野神社は圧巻でした。

途中は江戸から明治時代の主要交通路「金毘羅街道」が続きます。

岡山県に特徴的な「金毘羅燈籠」も姿を見せ、最高のお天気とともに楽しいピクニックとなりました。

最後は鎌倉時代に後鳥羽上皇隠岐流罪に連座してこの地に流された頼仁親王のお墓です。宮内庁管轄でなかへは入れませんでしたが、流罪の中児島修験の盟主となった親王を偲ぶ



ことが出来ました。



帰路は由加参道を歩き、農家の人が作ったコスモス畑の案山子とF o x f a c eを見て木見駅に向かった。



この歩こう会、今回からは不詳私の歴史解説付きでしたが、皆様楽しんでいただいたようで良かったです。

(幹事杉原尚示記)

